

科目名	母性看護学概論 Introduction to Maternity Nursing		担当教員 (研究室番号)	永見 桂子 (102) 大平 肇子 (104)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	永見:keiko.nagami@mcn.ac.jp 大平:motoko.oohira@mcn.ac.jp					
履修年次	2年次前期	科目区分	専門科目・生涯看護学		選択区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業形態	講義	科目等履修生	可
											オープンクラス	可
科目目的	女性の生涯をととした母性の健康と次世代の健全育成を支援するため、母性看護の基盤となる概念理解に基づき、母性看護の対象への理解を深める。また、母性看護の対象をとりまく社会の変遷と現状を理解し、母性看護の課題や役割について考える。											
ディプロマポリシー(DP)	主要なDP	C その時代の社会情勢や、人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につけている。(興味・関心・意欲)										
	関連するDP	A 人々の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重し、共感的に関わる姿勢を身につけている。(姿勢・態度) E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。(知識・理解)										
到達目標	1. 母性看護の対象理解と実践に必要な基本概念と支持理論について述べるができる。 2. 女性のライフサイクルとマタニティサイクルにおける母性の特性と母性の健康に影響を与える要因について述べるができる。 3. 次世代の健全な育成を支援する母性看護の役割と母性の健康をまもる社会のシステムについて述べるができる。 4. 現代社会における母性の健康をめぐる課題とこれからの母性看護の果たす役割について考察することができる。											
成績評価方法(基準)	筆記試験(70%)、レポート課題(20%)、学習内容へのコメント(10%)											
再試験の有無と基準等	有: 不合格となった者全員を有資格とする。 再試験は筆記試験とし、それまでのレポート課題や学習内容へのコメントは再試験の評価に加味しない。											
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学①(医学書院)											
参考書等	ウイメンズヘルスナーシング ウイメンズヘルスナーシング概論 女性の健康と看護 第2版(ヌーヴェルヒロカワ) その他、必要時紹介します。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	常に社会の変化に目を向け、母性看護のあり方についてあなた自身の考えを深めてください。文献をできる限り多く読んで自己学習し、積極的に授業に取り組むことを期待しています。											
備考	母性看護方法Ⅰを履修するための先修条件となります。											
回	学習項目				学習内容				主担当教員	授業方法		
1回	女性のライフサイクルとマタニティサイクルにおける母性				女性のライフサイクルとマタニティサイクルにおける身体的、心理・社会的特徴と母性の発達過程について理解する。				永見	講義		
2回	母性看護の対象理解のための基本概念				リプロダクティブヘルス/ライツ、セクシュアリティ、ジェンダーなど母性看護の対象理解のために必要な基本概念を学び、女性の性と性行動、家族計画について考える。				永見	講義		
3回	出産をめぐる歴史と母性看護のあゆみ				出産の施設化・医療化と出産のとらえ方の変化、母子保健に関する指標と動向を概観し、母性看護のあゆみを学ぶ。				永見	講義		
4回	母性看護からみた親子・家族関係				母子関係、父子関係など家族関係の特徴について理解し、親役割獲得、家族移行のプロセスと援助のあり方について考える。				大平	講義		
5回	母性看護とヘルスプロモーション				ヘルスプロモーションの概念について学び、母性看護の実際場面への活用について理解する。母性看護学を支持する理論とその応用方法について考える。				大平	講義		
6回	母子をとりまく文化・社会と母性看護				母子をとりまく文化・社会環境と母性の健康をまもる社会のシステムについて理解し、ソーシャルサポートと援助ネットワークについて考える。				大平	講義		
7回	母性看護と倫理的問題				生殖補助医療と生命倫理、遺伝看護について学ぶ。生命倫理の今日的課題と母性看護について考える。				永見	講義		
8回	現代社会における母性の健康をめぐる課題と母性看護				リプロダクティブヘルス/ライツの視点から現代社会における母性の健康をめぐる課題について考え、これからの母性看護の果たす役割と看護専門職の責務について考える。				永見	講義		

学 習 課 題

1～3回目課題(事後): 提示されたテーマについて、レポートにまとめ、指定の期日までに提出する。

(A4サイズ40字×36行、1ページ程度) [配点10%]

4～6回目課題(事後): 提示されたテーマについて、レポートにまとめ、指定の期日までに提出する。

(A4サイズ40字×36行、1ページ程度) [配点10%]

実務経験を活かした教育の取組

・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義を行う。